

私達は、防災教育をテーマに活動している3年生防災班です。この地域創りリーダー養成プログラムに防災班が出来て、今年度で3年目になります。そして、先輩方が作り上げた防災学習ツールである「防災ウォッチ」をさらに拡大し、また、今まで目を向けられていなかった被災後にも着目し、イベントを開催しました。

●第36回名古屋市防災展「防災ウォッチ」プロデュース●

(日程) 2017年8月19日(土) 20日(日)

(場所) 名古屋市港防災センター

(対象) 名古屋市内の未就学児・小学生

(人数) 2日間 1258名(内、子ども623名)

(学生スタッフ) 10名

「防災ウォッチ」とは、災害が起こった時に危険となるアイテムや環境、または身を守ってくれるお助けグッズなどを、子ども達にも学習しやすい妖怪としてキャラクター化した、子供向けの初等防災教育ツールのことです。このとりくみは、平成28年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」において、大学生部門の奨励賞を受賞しました。その結果、全国各地様々な機関・団体様からご要望をいただきました。そのうちの一つが名古屋市港防災センターの皆様からのプロデュースのご依頼でした。

毎年当センターで行われている防災展のメインイベントとして「防災ウォッチ」のキャラクター探しを実施したいというお話は、私たちにとってもとても嬉しいご提案でした。先輩方が作ってこられたのは、地震や津波、土砂災害に関するキャラクター



が多かったため、センター内の展示に即した新たな妖怪キャラクターを作成しました。

当日は班全員で名古屋市港防災センターへ赴き、2日間でなんと1258名ものお客様が来場してくださいました。私たちが作成した冊子を来てくれたお子様全員に配布しました。

館内では、冊子を持った子ども達が、キーワードが書かれた妖怪を探すために走り回っていました。皆とても楽しそうにキャラクターを探してくれていました。



また、キャラクターを探すことで、館内の隅々まで見て回ったり、見学したりする様子も伺え、企画は大成功でした。

また、今回の企画では、私たち独自のコーナーも実施しました。防災ウォッチのキャラクターたちが登場する「防災ヒーローショー」と「何が落ちたゲーム」です。「防災ヒーローショー」では、子ども達の前で劇を披露しました。館内にも掲示されている危険な妖怪が登場し、その妖怪から身を守るためのものをおたすけ妖怪として登場させて退治することで、幼稚園や小学校低学年の子ども達により分か



りやすくする工夫をしました。その後、「何が落ちたゲーム」を行いました。このゲームは西宮市小学校区の防災

訓練でも披露していますが、大変好評のプログラムです。名古屋でも変わらず楽しんでくれ、会場の雰囲気が一気に明るくなるのが感じられました。

コーナー終了後に子ども達に向けて簡単なテストを行ったところ、未就学児が多かったにも関わらず、ほぼ全員が正しく答えられており、知識の定着を実感しました。さらに、保護者向けのアンケートでは、子ども達が楽しみ、興味を持っていた様子を知ることが出来たほか、「家でもう一度防災について話し合おうと思った」「身近にある危険なもの、手助けになるものをキャラクターに変身させてなじみやすくした所が大変良い」といった意見を頂きました。

名古屋市港防災センターの方々からはイベント前後、最中もとても暖かいお声がけをいただきました。このような貴重な経験をさせていただいたことに、



心から感謝申し上げます。ありがとうございました！

●心と体で防災マスター！

～身の守り方を考えよう●

(日程) 2017年11月25日(土)

(場所) 神戸女学院大学

(対象) 小学生親子

(人数) 4名

(学生スタッフ) 10名

名古屋のイベントが終わり、自主企画として実施したのは、地震が起こった後に着目した防災啓発イベントです。市内の小学校の行事と重なってしまい、思うような集客は上げられなかったですが、参加してくださったご家族にはとても満足していただきました。



まず、大学の最寄駅周辺のレンタルスペースをお借りして、地震についての勉強や、地震が起こった際にどのような

ものに気をつけたらよいか、また消火栓など紹介を行いました。そして、駅から大学までの道のりを一緒に歩き、自分の目で確認しながら、ハザードマップ作りを行いました。大学についてからは、自分たちが作成したオリジナルのハザードマップの発表を行い、危険なものが当たり前のように町に潜んでいることを感じてもらいました。



その後、非常食についての紹介を行いました。どの食材が長持ちするかクイズを通して、楽しみながら学んでもらいました。非常食を日常で食べることによって賞味期限切れを防ぐ、「ローリングストック法」の紹介も行いました。最後に紙食器づくりを行い、それを用いて非常食の試食も行いました。



名古屋でのイベントとは対照的に、小さなイベントではありましたが、子ども達一人ひとりに寄り添うことが出来て、中身の濃いイベントとなりました。参

加してくださったご家族の皆様、ありがとうございました。

私たちはイベント終了後も、さらに防災教育の大切さを伝えるため、「防災ウォッチ」の紙芝居作りを行っています。まだ完成はしていませんが、西宮市防災啓発課の皆様や、NPO 法人災害ボランティアネットワークの皆様、上ヶ原幼稚園の皆様にもアドバイスをいただきながら作成中です。より多くの子ども達に防災について学んでもらえるよう、頑張ります。また、私たちの後輩の防災班にも活動を継続していきたいです！

